



Title	観光行動中に観光者が得る情報に関する一考察：観光現象を分析するための情報理論の構築に向けて
Author(s)	岡本, 健; 山村, 高淑
Citation	日本観光研究学会 ポスターセッション. 平成20年5月31日. 新座市.
Issue Date	2008-05-31
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/38725
Type	conference presentation
File Information	20080525okamoto_poster.pdf



[Instructions for use](#)

観光行動中に観光者が得る情報に関する一考察

岡本 健*、山村 高淑**

*北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院 観光創造専攻修士課程
**北海道大学観光学高等研究センター准教授

背景

- ①旅行形態の変化(団体から個人へ)
- ②ミクロな観光行動分析の少なさ

目的

観光者の観光行動時の情報の入力・処理に関して、理論を整理し、今後の研究課題を示すこと。

方法

- ①理論を整理することで、諸概念を定義
- ②定義を用いて「一連の観光行動」時の情報入力を整理

「一連の観光行動」時の観光者への入力情報と内的過程

段階	具体的事象	外部からの情報入力							観光スキーマ	内的過程	
		字	視	聴	嗅	触	味	体			
観光前	動機づけ	他者とのコミュニケーション		○	○					活性化	知的的好奇心
		観光情報	○	○							
		テレビ、インターネットなど	○	○	○						
		物産展など		○		○		○			
		映画・ドラマ・アニメーション		○	○						
	絵画・写真		○								
	小説	○							過去の記憶		
	その他										
	情報収集	他者とのコミュニケーション		○	○					形成	情報統合
		観光情報	○	○							情報の価値づけ
テレビ、インターネットなど		○	○	○					記憶の探索		
旅行会社など			○	○							
その他											
観光行動中	他者とのコミュニケーション		○	○					再構築(変化)	認知 + 感情 ↓ 価値判断	
	食事		○		○		○	○			
	自然環境		○	○	○	○					
	観光 遊園地、テーマパークなど		○	○				○			
	施設 博物館、資料館など	○	○	○							
	アクティビティ(体を動かすもの)		○	○		○	○	○			
	温泉		○	○	○	○	○	○			
	寺社仏閣		○	○	○						
その他											
観光後	他者とのコミュニケーション		○	○					固定化	観光行動の価値づけの統合	
	日常生活全般	○	○	○	○	○	○	○			
	その他									日常の認知への影響	

人間の情報処理の仕組み

内的過程

